

新荒尾市民病院エネルギーサービス事業者選定業務
に係る公募型プロポーザル審査結果報告書

令和2年6月

エネルギーサービス事業者選定評価委員会

エネルギーサービス事業者選定評価委員会

委員長 長谷川 麻子

委員 勝守 高士

大河原 進

長谷 慎一

永井 和則

新荒尾市民病院エネルギーサービス事業を委託するに当たって、公募型プロポーザル方式により事業者の選定を行いましたので、次のとおり審査結果を報告します。

1. 業務等の概要

(1) 業務名

新荒尾市民病院エネルギーサービス事業

(2) 業務内容

新荒尾市民病院エネルギーサービス事業

- 冷温熱源設備、給湯設備、受変電設備、非常用発電設備、直流電源設備、無停電電源設備（いずれも付属機器、配管等含む。）に関する設計、施工、工事監理（調達・手続き申請等を含む。）
- エネルギーサービス事業期間内における予防保全を前提とした設備の維持管理運用業務
- 設備故障時の緊急対応業務及び復旧業務
- 設備の遠隔監視業務
- エネルギーサービス事業期間内における供給設備データの計測検証、評価分析、運用改善等の提案
- E S 設備の「エネルギー使用の合理化に関する法律」に基づく省エネルギー計画書及び定期報告書の作成支援業務

2. 最優秀提案事業者

所在地 東京都港区海岸1-2-3

名称 東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社

代表者 代表取締役 比護 隆

3. エネルギーサービス料金と光熱水費の予定合計金額

金 2,891,725,283円(うち消費税257,142,267円)

4. 評価委員会における審査の概要

(1) 令和2年2月6日(木): 第1回評価委員会

本業務を公募型プロポーザル方式にて事業者選定を行うことを決定するとともに、評価委員長を選任した。

実施要項及び要求水準書の確認、技術評価の方法及び評価基準、提案書及び提案者の技術評価・順位決定について審議し、決定した。

(2) 令和2年3月23日(月): 参加資格確認

提出された参加資格確認申請書に基づき、提案事業者の資格確認審査を行い、合否を承認した。

(3) 令和2年4月10日(金): 第2回評価委員会

提出された技術提案書に基づき、事前審査を行い、技術提案書に問題無いことを確認し、プレゼンテーションへの参加を承認した。

プレゼンテーション・ヒアリングに関して、緊急事態宣言を受け、新型コロナウイルス感染防止の観点から実施方法を見直し、スケジュールを変更するとともに、録画によるプレゼンテーションと書面ヒアリングによって開催することとした(このことにより実施要項の修正を実施し、各提案者へ通知した。)

(4) 令和2年4月27日(月): 書面ヒアリングの実施

技術提案書に基づいたプレゼンテーション動画DVDを視聴し、提案内容を確認した。

各評価委員の質問事項を取りまとめ、書面ヒアリングを実施することを承認し、各提案者に通知した。

(5) 令和2年5月14日(木): 第3回評価委員会

技術提案書及び書面ヒアリングの回答に基づき、提案内容の最終確認を行った。

審査(採点評価)として、実施要項に定めのある実績、体制、取組姿勢、システム

構成、耐久性・耐震性、サポート・メンテナンス、災害時における事業継続性、環境性、経済性（コスト）の評価点を合計したものを確認し、評価委員会の総意として、最優秀提案事業者の候補者を特定した。

評価項目		配点 (点)	1位事業者	2位事業者
実績・体制	実績	5	5.0	5.0
	体制	10	8.6	7.4
	取組姿勢	15	12.8	11.4
信頼性	システム構成	10	9.2	7.6
	耐久性・耐震性	5	4.2	4.2
	サポート・メンテナンス	10	9.2	7.2
	災害時における事業継続性	10	8.8	6.4
社会性	環境性	5	4.6	3.8
経済性	コスト	30	30.0	26.9
総合評価 計		100	92.4	79.9

※ 経済性（コスト）＝（全体最低提案金額／事業者提案金額）×30
 （提案金額）＝15年間のエネルギーサービス料金と光熱水費の予定合計金額

（6）令和2年5月14日（木）病院事業管理者への報告

以上の結果を踏まえ、荒尾市病院事業プロポーザル方式事業者選定実施要綱第14条に基づき、荒尾市病院事業管理者に最優秀提案事業者の候補者を特定したことを報告した。

5. 審査の講評

今回のプロポーザルについて、提案事業者それぞれに強みがあり、採点は非常に難しいものとなったが、発注者の立場としては、エネルギーサービス事業者に期待すること（環境負荷軽減、ライフサイクルコストの削減）に対して、提案を求めて良かったと実感できるものであった。プロポーザルを通して、高度な技術を持ち、多数の実績を有する専門事業者から提案を受けることによって、新たなアイデア等を享受できたことは、新病院の更なる効率化につながる、非常に価値のあるものであった。この場を借りて各提案事業者への感謝の意を表すとともに、評価項目に沿って講評したい。

実績・体制では、各社ともに同種業務における十分な実績があることが確認されたが、最優秀提案事業者の提案には、設計施工段階から稼働後の管理運営における業務執行体制や市内企業との協力体制、新病院の整備手法である ECI 方式の経験に関して、より具

体性のある提案が見られた。特に、豊富な経験を有するプロジェクトマネージャーが一貫して総合窓口として、協議・調整を行うといった提案については、本事業における責任の所在の明確化といった観点からも評価できるものであった。

信頼性では、システム構成、耐久性・耐震性、サポート・メンテナンス、災害時における事業継続性といった項目について、基本設計や要求水準書等に対応したうえで、地域の中核病院であり災害拠点病院でもある本院の理念を、エネルギーと設備の両面から様々な創意工夫による課題解決が期待できる提案であった。

システム構成においては、各社とも電気・ガス・重油がミックスされており、非常電源設備とコージェネレーションシステムの能力等に違いはあるものの、ライフサイクルコストの低減に貢献できるアイデアが提案されていた。また、設備の配置計画においては、地下階と屋外の利活用が大きく異なっていたが、外界気象条件の経年変化への対応も含め、事業者側の資産である設備をほぼ全て屋外化し、地下階の設備スペースを他の用途で利用できる提案があったことは非常に評価できるものであった。なお、屋上の設備増加による構造への負荷対策については、本体工事費への影響が少額であることが確認されている。

耐久性・耐震性においては、各社とも対塩害使用、耐震クラス S 等の設備機器の提案がなされており、水災対策も含め、要求水準を満たすものであった。

サポート・メンテナンスにおいては、運用改善提案や維持管理の体制・対応、故障発生時の支援体制や機器の保全計画に関して、遠隔監視と地域密着型の支援が両立した提案であった。その上で、豊富な実績や経験から、故障情報の解析やメンテナンスの最適化を行いつつ、故障の前兆を検知し、故障停止前に予め処置を行う予防保全を、システムと人の目の二重の監視で行う体制といった提案を、持続可能性という観点から重点的に評価した。

災害時における事業継続性においては、災害発生時等における設備の安定性や、速やかな復旧に向けた方策に関して、燃料等の多重化や電源容量の増強、燃料節約といった提案があった。基本設計や要求水準で求める以上に災害時に対応可能となるように、燃料の温存が可能となる仕様にすることや、エネルギーの供給可能範囲を拡大するような技術の採用といった部分が、いつ、どのような災害が起こるか分からない中で、どこまで踏み込んで提案されているかが評価のポイントとなった。また、協議の中では、インフラはリスク分散のためにも、多種多様なものを取り入れた方がいいのではないかといった意見や、非常時の発電機が 1 台だけでいいのか、非常時に動かない可能性についてもどれだけ対応できるのかといったことが議論されるなど、特に集中的に評価した項目であった。

社会性では、周辺環境への影響や省エネルギーへの配慮、環境負荷低減に対する取組への提案を求めたものであるが、各社とも省エネ・省CO₂に配慮し、周辺環境への基本的な配慮についても提案されていた。更に、使用実績や気象データから建物需要を予

測し、料金情報も考慮した高効率制御を可能とする遠隔自動制御システムの導入についての提案があり、将来の省コスト化が期待されるものであった。

経済性では、エネルギーサービス料金及び設備運用に要する光熱水費の適正さを提案内容と費用等の積算金額から評価した。各社から提案された15年間のエネルギーサービス料金と光熱水費の予定合計金額と技術提案内容を確認し、予定合計金額を用いての評価を行った。各社の予定合計金額が、基本設計を終了した現時点では目標金額を超えてしまっているが、今後実施設計を進める中で、設備等の詳細な仕様の見直しや省エネ計画を検討していくことで、目標額に収まるように調整を図っていただくことに期待したい。

これらの提案については、技術提案書及びプレゼンテーション・ヒアリングに基づく技術等審査を通じて、実現性・的確性・独創性・成果達成の期待度（実施能力や組織体制等の明確性、本事業の理解度、提案の全体像や解説力、維持管理・保守・保全策、事業継続性）等を考慮して総合的に評価し、本院の求めるエネルギーサービス事業を十分に理解し、最適な計画を提示する提案力や姿勢を、技術提案等から読み取り、最終的に点数化して評価したものである。

最後に、本プロポーザルに参加された提案事業者、関係者の方々の尽力に、改めて謝意を表すとともに、今後の新病院建設事業の成功を祈念するものである。